用瀬町 三角山 現地視察の記録

■日　時　　平成26年6月4日（水）　9：00～13：00

■コース

用瀬町総合支所 → 三角山（508m）→ 景石城跡

→ 用瀬町総合支所

さあ、出発します。

用瀬町総合支所からすぐ近くに山道案内板

三角山女人堂
以前、女子は入山禁止でした。今は私も登れますね。

登山の安全祈願をして登りましょう。

登りがいのある岩肌です。

道標は見逃さないようにね。
女人堂
0.3Km
景石城社
三角山神社

508mの山なのに結構面白い

山頂に　三角山神社

三角山神社山頂(奥宮)本殿

(海抜508m)

この社の創建は不明なれども、口伝では因幡の国司「在原行平」この社に参拝し「ゆくさきをみすみのやまを・・・」と詠んだと云われていることから、西暦800年以前とも考えられる。幾多の災害により消失するも寛永3年(1626)に再建され、宝永3年(1706)の棟札が確認されている。

祭神は「猿田彦大神」で峯錫大権現と言われ、藩政時代から「峯錫さん」「権現さん」「お山さん」と親しまれ、近郷の人々に厚く信仰されてきた。出征時には「武運長久」を祈り、多くは「病気治癒」を祈願し、祈願成就の証しとして山頂へ石を手向けた。これを「万石」と呼び、その風習は今も引継がれている。山頂社殿の周りには、その昔より、影石、重石、富士石、天狗石、万灯石と名付けられた5個の巨石があり、今に伝わる民話「用瀬の峯錫坊」「山守の蝶の群れ」「鼻たけの話」など、その昔、霊山、霊場であり、修験者達の修行の場でもあったことが伺われる。

「三角山」別名「頭巾山」とも呼ばれている。

山頂からの眺め、眼下に用瀬の町

やっぱり山はいいですよ。

心地よい疲れです。

さあ、次を目指しましょう。

落ち葉に足を取られないように、用心です。

景石城址まで700M
女人堂
0.3Km
景石城址
三角山神社

子持ち松砦跡
子持ち松の名称は小字名に由来し、地元の人は「子持ち松さん」と呼んでいる。
景石城本丸から南に400m、景石城と同じ標高にあり、曲輪(10×17m)をはじめ、堀切り、堅掘等、砦としての入念な工作が施されている。
景石城、磯部城主館と三角形に位置しており、景石城を守る重要な拠点であったと考えられる。

振り返って観る景観の素晴らしさ
三月山神
1.0Km
場広開社

地元の皆さんの管理で
とても歩きやすい山道です。

これが三角点です。
三角点
基本測量

環境の良い東屋で休憩です。

晴天の日は遠くの山並みも良く見えます。

史跡 景石城址
史跡 景石城跡

ここにお城があったんですねえ、
悠久の歴史に浸りました。
姫石城跡

本
丸
跡

物見櫓の跡
物見櫓(三の丸)跡

気を付けて下山しましょう。

景石城跡へ直接登れる北ルート